

平成26年11月28日

宇陀市長 竹内幹郎 殿

宇陀市行政改革推進懇話会
会長 数家鉄治

第3次宇陀市行政改革大綱及び実施計画の策定について（答申）

平成26年11月14日付宇総第135号をもって貴職から意見を求められた第3次宇陀市行政改革大綱及び実施計画案について審議した結果、下記のとおり答申します。

宇陀市は、平成18年に歴史的な合併を経て、これまで2次にわたる行政改革の取り組みが進められ、その成果は宇陀市の逼迫した財政に非常に大きな効果をもたらし、一定の評価に値するものであると考えます。

しかしながら、少子高齢化や社会経済情勢が大きく変化している状況から推測すると、宇陀市の財政状況は今後も苦しい状況が続き、人口減少傾向は進むものと思われまます。

市民と行政が知恵や思いを結集し、限られた資源を最大限活用し、着実にまちづくりに取り組むことが肝要です。

そうした取り組みを基本に、将来の宇陀市の方向性を見据え、諮問を受けた「第3次宇陀市行政改革大綱及び実施計画の策定」について、審議を重ねてきたところです。

審議の結果、「第3次宇陀市行政改革大綱」は、「宇陀市の将来の礎の構築に向けて」を基本目標に掲げ、人口減対策やこれからのまちづくりなど、その実現に向けた具体的な取り組みが示されていることから、方向性や内容については基本的に了承する。

なお、別記のとおり当懇話会の付帯意見として提起しますので、今後当局において十分検討されることを要望します。

また、大綱に基づいた実施計画については、社会経済情勢に適切に対応するために不断の見直しが必要であることから、進捗管理をする中で、実施内容や目標、新しい課題も含めて引き続き協議しながら積極的に取り組んで下さい。

今後、この大綱に沿った具体的な取り組みにより、宇陀市の益々の発展につながることを強く期待します。

1 総括的事項

- (1) 人口減対策本部を中心に全職員が一丸となり、地方創生も踏まえ、産業振興を充実させ、定住人口や交流人口の増加など人口対策に取り組まれない。
- (2) 第3次行政改革大綱では、財政規律を堅持し、更新投資も検討しながら、活力あるまちづくりを目指し地域経済の活性化、地域振興に取り組まれない。
- (3) 第2次行政改革の取り組みの成果と課題についてしっかりと総括を行い未達成項目や継続して取り組むべき事項について第3次行政改革に引き継がれない。

2 基本方針について

(1) まちづくりと人づくりの改革

- ① 宇陀市の将来を見据えたまちづくりについては、高齢者が安心して暮らしつつけられるように、市立病院を核とした地域包括ケアシステムの構築や公共施設の複合化など安心・安全に暮らせるコンパクトなまちづくりを推進されたい。
- ② 宇陀市の定住促進につながるように、子育てしやすい環境の整備やウェルネスシティ宇陀市の推進等にしっかり取り組み、魅力あるまちづくりの推進に努められたい。
- ③ 市民と行政が情報の共有を図り、住民参加による市民と行政の協働によるまちづくりを進められたい。
- ④ 市内企業の支援や農産物、加工品など宇陀ブランドの確立など基幹産業の活性化を図り、産業雇用の創出を図られたい。
- ⑤ 高齢者や子育て世代などの利便性の向上のため、宇陀市の将来を見据えた交通網の整備を進められたい。

- ⑥ 協働による地域づくりを進めるため、職員の潜在能力や創造的能力の向上を図り、地域と行政が一体となるよう人づくりに取り組まれない。

(2) 時代に即応した組織体制の確立

- ① 政策課題を迅速かつ効率的に解決するため、類似業務の再編統合を行い、組織機構の最適化を図られたい。
- ② 業務の平準化、時間外勤務の縮減など職員の適正配置に努めるとともに、職員の能力を最大限発揮できるように、また職員のモチベーションの低下に繋がらないように配慮されたい。
- ③ 行政は市民の信頼の上に成り立っているので、コンプライアンスの一層の徹底を図られたい。

(3) 持続可能な財政運営

- ① 少子高齢化など人口構造が大きく変化する中、時代の変化に受けられるような行政体制を目指すとともに、市民の福祉の向上のため、安定的継続的な財政の健全化に努められたい。
- ② 市税等の滞納については、公平性の観点から徴収強化に努められたい。またふるさと納税や市有財産の売却など歳入確保に努められたい。
- ③ ファシリティマネジメントを導入し、各種施設の必要性等を見極めながら整理統合を行い、施設のスリム化を検討されたい。
- ④ 各公営企業の運営については、宇陀市の財政負担にならないよう、堅実な運営を図られたい。

宇陀市行政改革推進懇話会委員名簿

氏名 (敬称略)	区分	備考
カズヤ テツジ 数家 鉄治	学識経験者	会長
タケガワ リョウタロウ 武川 龍太郎	公共的団体等の役員	副会長
タダ ヨシロウ 多田 與四朗	市議会議員	
ヤマモト シンゴ 山本 新悟	市議会議員	
カタイシ マサミ 片石 正美	公共的団体等の役員	
ヤマシタ ヒロヨシ 山下 裕義	公共的団体等の役員	
マツムラ リュウヘイ 松村 隆平	公共的団体等の役員	
ヤマモト カヨコ 山本 加代子	公共的団体等の役員	
モリイ フミオ 森井 文雄	学識経験者	
ミナミダ アキノリ 南田 昭典	学識経験者	
ナカイ ヨウコ 中井 陽子	学識経験者	
マツツカ キヨシ 松塚 幾善	学識経験者	
マスイ マサヒト 榭井 正仁	学識経験者	
ウエダ タカユキ 植田 隆之	公募委員	